

H17, AUT

CMnavi

No. 17

(社) 日本建設機械化協会  
中国支部

「みる・きく・ふれる 国土建設フェア2005」参加

みる・きく・ふれる国土建設フェア2005  
国土交通省中国地方整備局が主催する  
「みる・きく・ふれる国土建設フェア2005」  
が開催され当支部も実行委員として参画した。  
期 日 9月9日(金)～10日(土)  
場 所 広島グリーンアリーナ・基町中央公園  
参加者 16,640名



(社) 日本建設機械化協会中国支部コーナー



「盛土の締固め情報化施工」  
協力会社 西尾レントオール株式会社



「解体現場で活躍する内装解体機」  
協力会社 宝物産株式会社



ミニバックホウに乗って写真を撮ろう  
協力会社 コマツ中国株式会社



バックホウの達人による実演を見よう  
協力会社 コベルコ建機株式会社

## ミニチュアショベルプレゼント

当選者

A賞 中村絵美香 谷本綾子

B賞 筒井佳子 森王昌子 川岡健二  
橋本有里 横関大翔 山本鈴生  
猪原稔介 番匠ゆか 岡本美祐紀  
新井優一郎

賞品提供 コベルコ建機株式会社

## ミニパワーショベルプレゼント!



●応募用紙にご記入いただいた方には、9/10(土)15:30より  
大アリーナステージで抽選を行いプレゼントします。

## 機械施工技術検定試験の実施

建設業法に定める建設機械施工技術検定制度に基づいて、当協会が実施機関となって行っている建設機械施工技術検定試験の平成17年度の各試験状況は、次のとおりである。

### 1) 学科試験

平成17年度の学科試験は6月19日全国一斉に実施され、中国地区では広島工業大学で実施し、受験状況及びその結果は、次表のとおりである。

平成17年度建設機械施工技術検定学科試験（中国）

	受験者	合格者	合格率
1級	130名	56名	43.1%
2級	384名	237名	61.7%
合計	514名	293名	



広島会場 広島市扇二丁目多目的広場

### 2) 実地試験

平成17年度の中国地区での実地試験は、広島（9月3日～5日、扇二丁目多目的広場）及び宍道（9月3日～4日、(株)原商）の両会場で行われ、受験状況は次表のとおりである。

平成17年度建設機械施工技術検定実技試験受験者（中国）

	中国全体	広島	宍道
1級	86名	78名	8名
2級	248名	170名	78名
合計	334名	248名	86名

\* 1級受験者数は延べ受験者数

## 会員紹介 [アイサワ工業株式会社]

所在地 〒700-0822 岡山市表町1-5-1  
代表者 取締役社長 逢澤 潔  
創業 1912 (明治45) 年5月01日  
設立 1939 (昭和14) 年7月28日

電話:086-225-2151  
FAX:086-232-9562  
E-mail:eiho@aisawa.co.jp

スローガン 当社は1912年に中国土木として創設、爾来一貫して「安全第一と誠実な施工」を企業理念として来ました。

1942年に創設者である逢澤寛が日本土木建築工業組合連合会長に就任し、建設業界の発展に尽力してきました。

1949年に初めて建設業の許可を受け、1973年(昭和48)に社名をアイサワ工業(株)と変更し総合建設業として全社員が安全第一と地球環境の保全に配慮し「社会に求められる企業」を目指して頑張っています。



### 最近の話題

- ・1997年(平成9) ISO9001及び2000年(平成12) ISO14001の認証取得
- ・中国地方整備局ダム事業の苫田ダムを2004年12月完成全建賞を受賞(佐藤、鴻池、アイサワ3社JV)
- ・サイバーメッシュ工法(コンクリート補強工)特許申請中が整備局技術研究発表会で局長表彰された。

### 新技術紹介

- ・コスト縮減・安全対策=竹前割り型構造物掘削工法  
RCCカルバート工法
- ・トンネル・橋梁コンクリート補強・補修=  
サイバーシート工法・サイバーメッシュ工法
- ・環境対策技術= HMA工法・WIB工法・OSJ工法

事業内容 総合建設業(土木・建築一式・造園・浚渫・水道施設・とび・土工・コンクリートその他)



アイサワ工業株式会社

## 会員紹介 [コベルコ建機 株式会社]

所在地 [東京本社: 〒141-8626 東京都品川区東五反田2-17-1] 創業 [昭和21年12月]  
[広島本社: 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園3-12-4] 会社設立 [平成11年10月1日]  
代表者 [代表取締役社長: 島田 博夫] 電話 [東京: 03-5789-2111] [広島: 082-874-1111]  
URL [http://www.kobelco-kenki.co.jp] FAX [東京: 03-5789-2132] [広島: 082-874-9150]

1999年10月1日、当社は神戸製鋼の建機部門を中心に、グループ企業が一体となって新たにスタートをきりました。私たちは、国産の建設機械の第1号機として1930年に電気ショベルを誕生させて以来、常に業界をリードし続けてきました。私たちは、常に新たな課題に挑戦し続けるチャレンジスピリットを持ち続けていきます。

【スローガン】 さすがコベルコ! (選択される「商品」「社員」「会社」へ)

私たちは、人と環境にやさしい循環型社会創出のため、世界中のお客様に対し、創造的な“知と技”により、革新的ソリューションを提供いたします。このお客様価値の最大化活動を通じて、私たちは持続的成長を実現し、グローバルトップブランドを目指します。

私たちは『さすがコベルコ!』と評価される企業になります。

そのために、

- \* 常にユーザー現場主義を貫きます。
- \* 企業市民としての社会的責任を全うします。
- \* シンプル・スピード・オープンな風土を醸成し、一人一人がやりがいを感じる企業を目指します。

さすがコベルコ!

選択される「商品」「社員」「会社」へ

【新製品】 超大型ビル解体専用機『SK3500D』

当社はこのほど、世界一の解体作業高さ6.5m超を実現した超大型ビル解体専用機『SK3500D』を開発し、10月22日より販売を開始しました。

本機の第1号機は、国内最大手で解体業のパイオニアである渡辺解体興業(株)殿から既に受注頂いており、本1号機の完成に当たり、コベルコ建機が開発し、渡辺解体興業殿が保有する“世界一の作業高さのビル解体機”としてギネス申請を実施しました。

『SK3500D』は、大型クローラクレーンの安定性抜群な足廻りに、大型油圧ショベルの高出力パワープラント、更には当社特殊機械メニューで豊富な実績のある解体作業用アタッチメントや超ロングブームなどを採用した、まさにコベルコ技術の結晶であり、「解体機のコベルコ」を象徴するニューマシンの誕生といえます。

超大型ビル解体専用機『SK3500D』  
コベルコ建機株式会社

KOBELCO コベルコ建機株式会社

# 中国支部行事の紹介

## 11月以降の講習会等行事予定一覧

日時	行事名	内容	備考
17年 11月22日	道路除雪講習会  伯耆しあわせの郷 大研修室	冬季道路交通確保と道路除雪計画 路面凍結対策 除雪機械による道路除雪 除雪機械と除雪工法 除雪機械の取扱い 除雪作業の安全対策	一般 募集
18年 1月16日	公共工事の安全対策講演会  広島商工会議所	建設工事事務事故防止のための重点対策 建設機械施工安全技術指針の改定の概要 わく組足場先行手摺りユニット	一般 募集
2月初旬 予定	機械設備技術講習会		一般 募集
3月初旬 予定	第18回わが社の 「新技術・新工法」発表会	発表課題6 課題程度	一般 募集

## 7月から10月までの講習会等行事報告

### ■ 第17回「わが社の新技術・新工法発表会」の開催

7月26日国際教育センターにおいて開催し、参加者は84名でした。

#### 発表課題

国土交通省における技術研究開発の取り組み状況  
長大インバート栈橋を使用したトンネルの合理化施工  
災害発生時の重機運用システム  
志津見ダム大橋（複合トラス橋）  
盛土の締固め情報化施工  
臭気対策の事例発表（BM式消臭装置の開発）

#### 発表者

国土交通省  
佐藤工業（株）  
（株）間組  
国土交通省  
西尾レントオール（株）  
中国工業（株）

## ■ 第35回映画会「最近の機械化施工」の開催

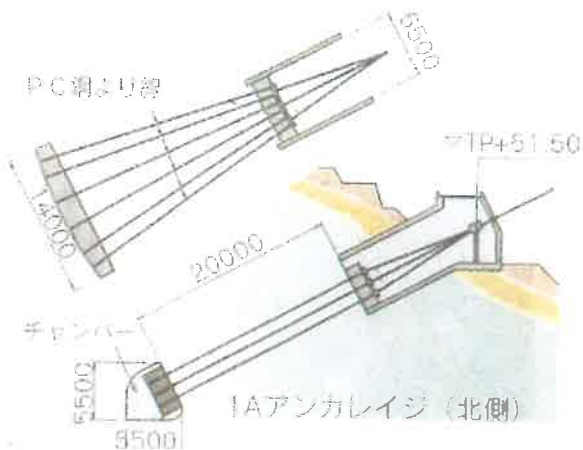
8月29日広島YMCAにおいて開催し、参加者は81名でした。

題 名	提 供
土のクリーニング（改訂版）～土壤地下水汚染浄化技術～	大成建設（株）
地盤改良を不要としたシールド発進・到達工法	佐藤工業（株）
ウォータージェットピーラーシステム工法～区画線消去～	宮川興業（株）
URUP工法～概要及び実証実験工事記録～	（株）大林組
未来に向けて山が動く～加太土砂採取事業～	青木あすなろ建設（株）
最先端技術で市民の安全を守る～日本初泥水推進工法 大深度・斜坑建設工事～	清水建設（株）
膜式防潮堤シティブリア	三菱重工業（株）
プロジェクトX～鉄道分断・突貫作戦・奇跡の74日間～	NHKビデオ（株）奥村組

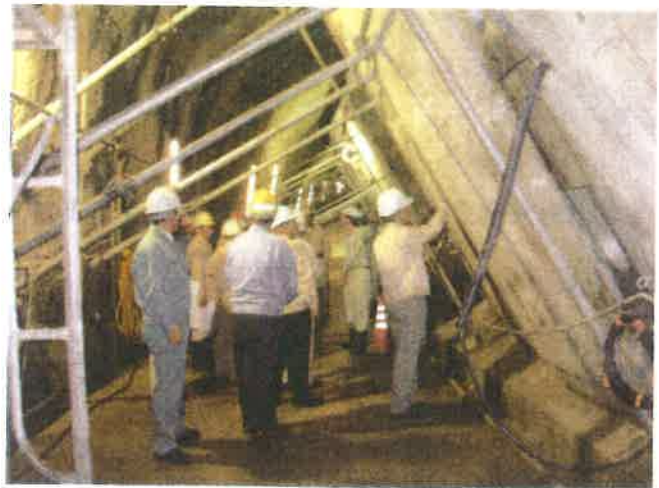
## ■ 第56回新技術活用研修会の開催

9月22日広島県道路公社呉事務所の協力により研修会を開催し、参加者は17名でした。

場 所 豊島大橋下部工事（広島県呉市蒲刈町大浦字長瀬）  
 呉市海事歴史科学館（広島県呉市宝町5番20号）  
 対象技術 岩着式アンカレイジとは、抵抗体（おもり）を岩盤自体にプレストレス（緊張）を導入し、岩盤の引き抜き耐力によりケーブルを支えるアンカレイジで国内では最初です。



岩着式アンカレイジ



PC鋼線定着チャンバー

## ■ 最近の公共工事を取り巻く話題講演会の開催

10月28日RCC文化センターにおいて開催し、参加者は121名でした。

演 題

(1) 新たな「公共工事等における技術活用システム」

国土交通省中国地方整備局企画部 施工企画課 施工係長 山田晋吾

(2) 公共工事の品質確保の促進に関する法律

～基本方針、談合対策に伴う契約方式等について～

国土交通省中国地方整備局企画部 技術管理課 建設専門官 神宮祥司

国土交通省中国地方整備局企画部 技術管理課 課長補佐 梶井芳樹

# 国土交通省が進める新たな『公共工事等における技術活用システム』

公共工事等に関連した技術の開発は、品質の確保や安全で安心な暮らしの実現、良好な環境づくり、快適で生活コストの安い暮らしの実現などに向けて、大きな役割を担っています。

技術開発が促進され、優れた技術が産み出されるためには、有用な新技術を公共工事等に積極的かつ円滑に導入していくことが重要です。

国土交通省では、NETISを用いたこれまでの「技術活用システム」を新技術の開発から現場での試行までを迅速かつ確実に繋げる「評価試行方式」及びニーズを提示して優れた技術を公募・選定する「テーマ設定技術募集方式」に再編・強化します。

## 評価試行方式(再編・強化)のポイント

### ①新技術の開発から活用までを迅速につなぐ

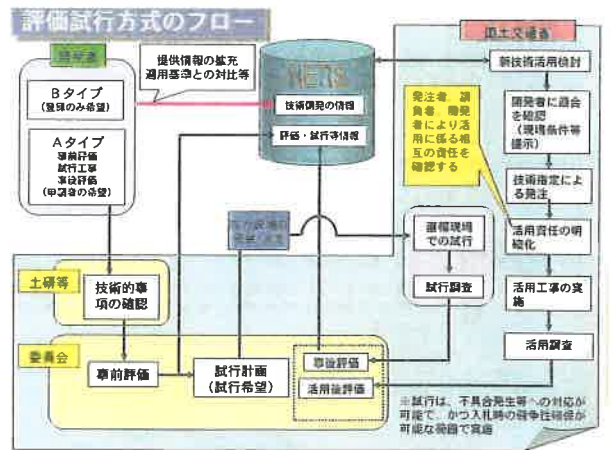
- 「従来」：新技術をNETISに登録しても、活用する判断は発注者が決めていたため、実績の無い技術は使われなかった。  
(登録されても使われない技術が多数あった)
- 「今回」：安全性・耐久性等を事前に確認し、問題のない技術は実績に関わらず現場を探して試行する。  
(開発から試行までを切れ目無く行う)

### ②試行結果の公表及び開発者の技術育成

- 「従来」：簡易な事後評価をNETISに登録
- 「今回」：試行結果をNETISで公表するとともに、改善点等を明確にし開発者に通知する。(改善点を明確にすることで開発者の技術の育成を促進)

### ③産学官連携による新技術活用評価の拡充

- 「従来」：官の委員及び、産学の委員会が別々に評価を行っていた。
- 「今回」：産学官、一体となって、多様な視点から新技術の評価等を実施



## 『中国地方整備局新技術活用評価委員会』を設置

### 設置主旨

公共工事等への有効な新技術の活用促進を図る事を目的として、新技術に係る情報の収集、事前評価、現場での試行及び事後評価を実施するため、産・学・官の有識者により構成される新技術活用評価委員会を設置するものである。

### 期待される効果

委員会の運営を通じ、公共工事等において新技術の活用促進を図ることにより、民間における技術開発が促進され、良い技術が育成し、社会に還元されるスパイラルが確立され、公共工事のさらなる品質の確保、コスト縮減等が期待されます。

### 審議事項

- ①新技術の事前評価
- ②事前評価の結果を踏まえた試行実施の妥当性
- ③新技術の試行計画の策定
- ④新技術の試行の事後評価及び簡易評価
- ⑤新技術の活用促進に関する事項
- ⑥その他評価試行方式の運用に関すること

### 開催予定

委員会開催 4回/年

中国地方整備局 新技術活用評価委員会 開初会

中国地方整備局は、新技術を公開、その知見を技術者に提供し、情報の収集、事前評価、現場での試行、および事後評価を実施する「新技術活用評価システム」を構築し、その活用促進を図る。今年度は、新技術活用評価委員会の設置、評価試行の開始、活用促進の取組等を実施する。開初会では、委員会の役割、評価試行の進め方、活用促進の取組等について説明が行われた。

あいさつする中村委員長

### 新技術の活用促進を

中国地方整備局は、新技術を公開、その知見を技術者に提供し、情報の収集、事前評価、現場での試行、および事後評価を実施する「新技術活用評価システム」を構築し、その活用促進を図る。今年度は、新技術活用評価委員会の設置、評価試行の開始、活用促進の取組等を実施する。開初会では、委員会の役割、評価試行の進め方、活用促進の取組等について説明が行われた。

委員会の役割、評価試行の進め方、活用促進の取組等について説明が行われた。

委員会の役割、評価試行の進め方、活用促進の取組等について説明が行われた。

# 「評価試行方式」【随時申請を受付けています。】

## 【申請タイプと対象技術】

**Aタイプ:** 直轄の工事等において活用が見込まれる新技術で、申請者が事前評価・試行・事後評価を希望するタイプです。  
ただし、瑕疵発生時の修復・代替が困難な技術（例えば、大規模、部分的適用が困難な技術）を除きます。<sup>※1</sup>  
現場での試行実施の可否については新技術活用評価委員会（以下、「評価委員会」という。）が判断します。  
産業界・大学・行政からなる評価委員会で事前評価・試行計画の策定・事後評価などを行います。

**Bタイプ:** 公共工事等で活用が見込まれる新技術で、申請者がNETISへの技術情報の掲載のみを希望するタイプです。

### ～申請書類～

- ・申請書（様式1）/技術概要説明資料（様式2）/詳細説明資料（様式3）/比較表（様式4）/その他参考資料
- ※申請書類の様式は以下のNETISホームページよりダウンロードいただけます。

<http://www.kangi.ktr.mlit.go.jp/netis/netishome.asp>

### ※1: Aタイプの対象とならない技術の例

#### 【大規模工事であるもの】

例: ケーソン、トンネル工、ダム、シールドトンネル、橋梁などの本体等

#### 【一体として施工され重要構造物となるもの】

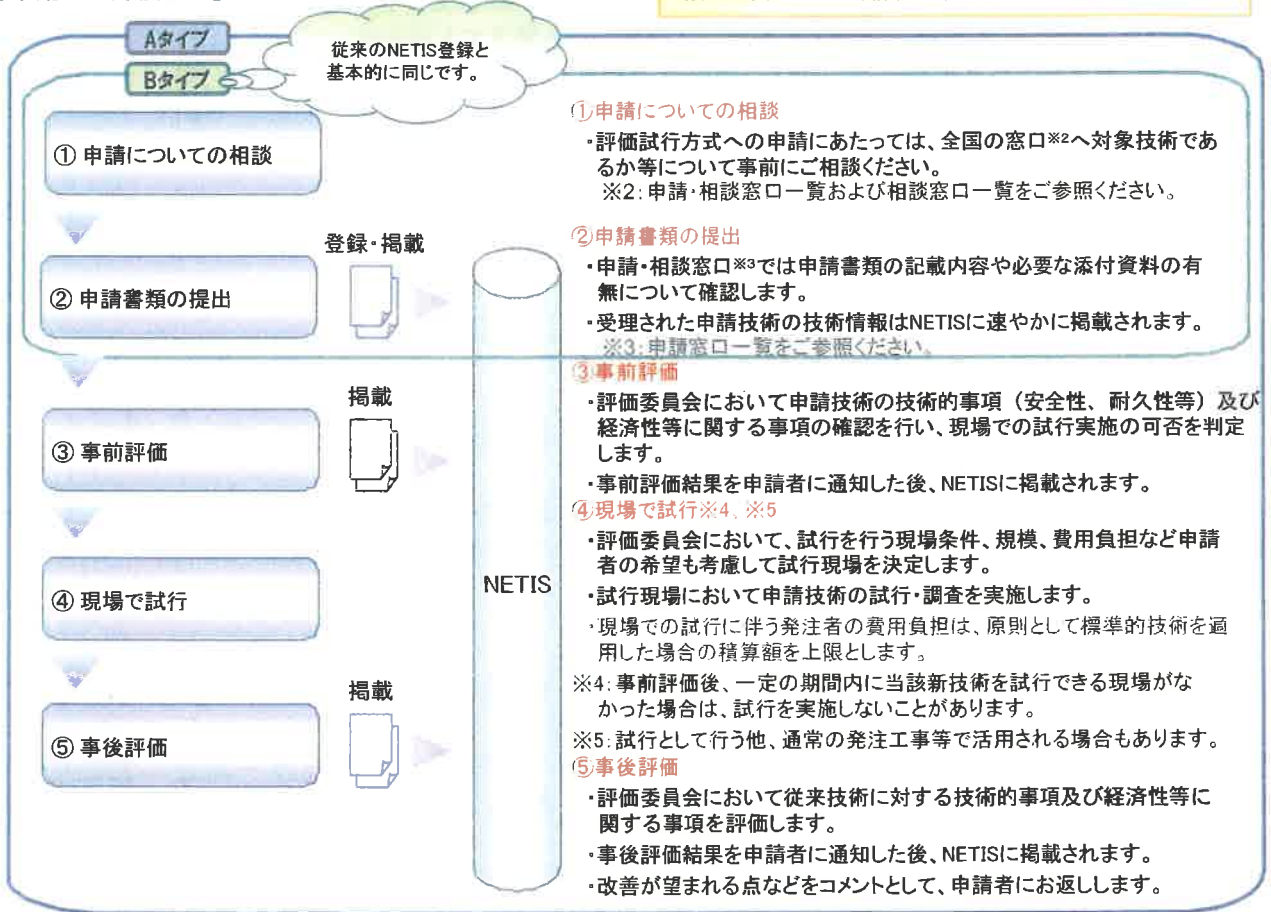
例: 連続地中壁工、鋼管矢板基礎工等

#### 【一体として施工され主体工種となるもの】

例: 洞門工、共同工、橋梁上部工等

上記工種でも技術によっては、評価試行方式の対象となる場合がありますので、詳細は申請窓口にお問い合わせください。

## 【申請から評価まで】



## 【評価の方法】

- ・申請書類に基づき評価委員会において評価を行います。
- ・申請者に評価委員会での説明等をお願いする事があります。

## 【事前評価のスケジュール】

- ・事前評価は、原則として年4回（6月、9月、12月、3月）実施します。

※Aタイプの申請技術については、評価委員会で審議できる技術件数に限りがあります。受付から評価までに相当の期間を要することで申請者にご迷惑をおかけすることを防止するため、申請受付を一時停止させていただく場合があります。

※申請技術が多数の場合、評価委員会審議を円滑に行うため、提出いただいた技術資料の客観性及び信頼性の高い技術、並びに公益性を考慮し現場ニーズが高い技術等から順次審議させていただきます。

## ～標準的な事前評価のスケジュール～

受理時期	事前評価の回答
2～4月	→ 原則 6月下旬
5～7月	→ 原則 9月下旬
8～10月	→ 原則 12月下旬
11～1月	→ 原則 3月下旬

## ■企画部会紹介

中国支部活性化のため



# 中期事業計画(案)を策定しています

(社)日本建設機械化協会中国支部企画部会では、各部会の協力を得て、支部の一層の発展と活性化のため、現在、中期事業計画(案)の策定を進めています。

これは、昨今の社会・経済情勢の変化の中にあつて、現状の協会活動・運営では、社会ニーズや会員ニーズに対して、十分な対応を図れなくなって来ているためです。

そういった中、策定にあたっては、低予算で高品質かつ有効な活動となるような事業計画を目指した展開としていきたいと思っております。

事業計画(案)は、一朝一夕に出来るものではありませんが、その都度会員皆様の意見を反映しながらより良い方向へ向けて逐次改訂・とりまとめを行っていきたくと考えております。

協会の活動・運営は、会員皆様の支えがあつてのものであり、皆様の御理解・御協力をお願いすると共に、中期事業計画(案)の策定に対する意見・要望等がありましたら、協会の方へお寄せ下さい。

何でも結構です、お待ちしております。



企画部会

## ■ 会員のコマースシャル募集

### CMnaviを会員の宣伝の場にご利用しませんか！！

次号より会員のコマースシャルを充実することになりました。  
会員各社の新製品等の宣伝を下記のとおり行いますので振るって応募願います。

記

体裁	1頁(A4判)以下	半頁(A5判)以下
書式	自由	
宣伝内容	会員各社の主力製品・新製品・新技術・新工法・事業内容・最近の話題等宣伝	
申込方法	宣伝文書を中国支部事務局迄お送り下さい。	
申込時期	随時	
掲載料	1頁(A4判)以下 5,000円	半頁(A5判)以下 3,000円

## ■ 編集後記

みる・きく・ふれる 国土建設フェアー2005も盛会のうちに終わり、17年度下半期の講習会等の行事も予定どおり進めて参りたいと思っておりますので、引き続き会員の皆様のご協力とご指導を宜しくお願いいたします。

さて、CMnaviも創刊号(平成10年春)以来、特集号も入れて17回発刊することができました。これも、ひとえに会員の皆様のご協力とご指導の賜と感謝申し上げます。

今回からは、CMnaviをより充実するために、編集委員会を新しく設けて編集にあたることになりましたので、更なるご意見、ご希望をお聞かせ下さると共に掲載原稿の応募をお願い致します。

今回は、「みる・きく・ふれる 国土建設フェアー2005」参加状況、機械施工技術検定試験の実施状況、中国支部行事の紹介、公共工事等における技術活用システム、会員紹介、部会紹介等をまとめてみました。

CMnavi編集委員会